



リモート ワーカー緊急コール

- ・ [リモート ワーカー緊急コールの概要 \(1 ページ\)](#)
- ・ [リモート ワーカー緊急コールの前提条件 \(1 ページ\)](#)
- ・ [リモート ワーカー緊急コールの設定タスク フロー \(2 ページ\)](#)

リモート ワーカー緊急コールの概要

リモート ワーカー緊急コール機能により、顧客はリモート バーチャルプライベート ネットワーク (VPN) 接続を使用した信頼性の高い緊急コール サポートをリモート ワーカーに提供できます。オフプレミスユーザからの緊急コールは公安応答局 (PSAP) にルーティングされ、各コールではユーザが提供するロケーション情報が配信されます。

この機能を使用するには、デバイス登録が中断されるたびにリモート ワーカーがロケーションを確認または更新する必要があります。最初に、オフプレミス向けデバイス (顧客のネットワークにリモート接続するデバイス) にカスタマイズ可能な免責事項通知が表示されます。この通知は、正しいロケーション情報を提供するようにユーザに指示します。ロケーション情報が提供されると、指定したデバイスに現在関連付けられているオフプレミスロケーションが表示されます。ユーザは現在のロケーションを確認するか、または保存されている別のロケーションをデバイスのディスプレイで選択します。新規ロケーションの場合、ユーザに対し、新規ロケーションを作成するための Cisco Emergency Responder Off-Premises User Web ページが表示されます。

管理者はこのプロセスを完了する前に、デバイスがコールできる接続先を、設定されている 1 つの接続先だけに制限できます。この操作により、デバイスのユーザは免責事項に同意し、現在のロケーション情報を提供した後で、デバイスを通常どおり使用できるようになります。

リモート ワーカー緊急コールの前提条件

リモート ワーカー緊急コール機能を設定する前に Cisco Emergency Responder で Intrado (サードパーティ製アプリケーション) を設定する必要があります。Intrado を設定する手順については、『Cisco Emergency Responder』を参照してください。 [Cisco Emergency Responder Administration Guide](#)

リモートワーカー緊急コールの設定タスクフロー

始める前に

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	リモートワーカーとしてのユーザの設定 (2 ページ)	構外デバイスをデバイスの所有者と関連付けます。
ステップ 2	緊急コールの代替ルーティングの指定 (3 ページ)	これらのパラメータは、コーリングサーチスペースと接続先番号を指定します。これらは、ユーザがロケーションを設定しないことを選択した、登録済みのオフプレミスデバイスから発信されたコールのルーティングを制限するために使用されます。これらのパラメータが設定されていない場合、コールは通常どおりルーティングされます。
ステップ 3	アプリケーションサーバの設定 (3 ページ)	エンドユーザを、デバイスのロケーションを入力したアプリケーションサーバに直接接続します。
ステップ 4	E911 メッセージの設定 (4 ページ)	構外のエンドユーザの電話機に表示される E911 メッセージを設定します。

リモートワーカーとしてのユーザの設定

始める前に

Cisco Emergency Responder で Intrado を設定していることを確認します。Cisco Emergency Responder 上で Intrado を設定する方法の詳細については、『』を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM Administration] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]。
- ステップ 2** 電話機を検索するのに適切な検索条件を入力して、[検索 (Find)] をクリックします。検索基準に一致する電話機のリストが表示されます。
- ステップ 3** リモートワーカー緊急コールを設定する電話機を選択します。[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 [デバイス情報 (Device Information)] セクションで、[オーナーのユーザ ID (Owner User ID)] ドロップダウンリストから適切なユーザ ID を選択して、[リモートデバイス (Remote Device)] チェック ボックスをオンにします。

ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。

緊急コールの代替ルーティングの指定

コーリング サーチ スペースと接続先番号を設定するには、次の手順を実行します。これらのパラメータは、ユーザがロケーションを設定していない構外に登録してあるデバイスからのコールのルーティングを制限するために使用されます。これらのパラメータを設定しない場合、コールは通常どおりにルーティングされます。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM Administration] から、以下を選択します。[システム (System)] > [サービスパラメータ (Service Parameters)]

ステップ 2 [サーバ (Server)] ドロップダウンリストからサーバを選択します。

ステップ 3 [サービス (Service)] ドロップダウンリストから、[Cisco CallManager] を選択します。
[サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウが開きます。

ステップ 4 [クラスタ ワイドパラメータ (構外のロケーションへの緊急コール) (Clusterwide Parameters (Emergency Calling for Required Off-premise Location))] セクションで[緊急コールの接続先の指定 (Alternate Destination for Emergency Call)] を指定します。

ステップ 5 [緊急コール用コーリング サーチ スペースの指定 (Alternate Calling Search Space for Emergency Call)] を指定します。

ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。

アプリケーションサーバの設定

E911 プロキシが Cisco Emergency Responder と通信するには、アプリケーションサーバを設定する必要があります。E911 プロキシは、ユーザがデバイスの場所を入力するアプリケーションサーバにユーザを転送するために使用されます。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM Administration] から、以下を選択します。[システム (System)] > [アプリケーションサーバ (Application Server)]。

ステップ 2 [Add New] をクリックします。

[アプリケーションサーバの設定 (Application Server Configuration)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 3** [アプリケーション サーバのタイプ (Application Server Type)] ドロップダウン リストで [CER のロケーション管理 (CER Location Management)] を選択します。
- ステップ 4** [次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 5** [名前 (Name)] フィールドで、設定するアプリケーション サーバを特定する名前を指定します。
- ステップ 6** [IP アドレス (IP Address)] フィールドに、設定するサーバの IP アドレスを入力します。
- ステップ 7** [使用可能なアプリケーション ユーザ (Available Application Users)] のリストから、アプリケーション ユーザを選択し、下向きの矢印をクリックします。
- ステップ 8** [エンド ユーザの URL (End User URL)] フィールドに、このアプリケーション サーバに関連付けられるエンド ユーザの URL を入力します。
- ステップ 9** [保存 (Save)] をクリックします。
-

E911 メッセージの設定

次の手順を使用して、構外デバイスの E911 メッセージを選択して編集します。

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM Administration] から、以下を選択します。[システム (System)] > [E911 メッセージ (E911 Messages)]。
- ステップ 2** E911 メッセージの必要な言語リンクを選択します。
- [E911 メッセージの設定 (E911 Messages Configuration)] ページには、利用規約、免責事項、およびエラー メッセージが表示されます。
- ステップ 3** (任意) オフプレミス デバイスに表示される E911 メッセージを編集します。
- ステップ 4** [保存 (Save)] をクリックします。
-